



亀山市内における産業立地について

市内における産業立地に関して、先月末に造成工事に着手されました2件についてご報告します。

まず1件目は、平成27年2月に本市と立地協定を締結しました株式会社豊田自動織機による試験施設の建設計画ですが、同社が地元住民への説明や許認可手続きなど、これまで建設に向けた取り組みを進められ、計画区域である本市の白木町及び小川町地内において、平成30年3月の施設稼働を目指し、造成工事に着手されました。

次に2件目ですが、市内唯一の工場適地でもある民間工業団地「亀山・関テクノヒルズ」ですが、平成20年1月から経済情勢や造成済み用地の販売状況等を理由に、一部工区の造成工事が中断されていました。こうしたことから、市では、開発主体である住友商事株式会社に対し、早期着手を継続的に働きかけてきましたが、同社の決定により、開発区域北側の約33ヘクタールの造成工事が再開されました。

本市としては、引き続き、企業立地の観点から豊田自動織機株式会社の試験施設竣工に向けた支援を行うとともに、住友商事株式会社との連携をより密にしながら、亀山・関テクノヒルズへの企業誘致を一層進めることにより、本市の産業振興に繋げていきたいと考えています。